

「厳しい時の取り組みは…」 2010.2.9～26 全単組オルグ



JAM山陰は、2010 春闘と政策実現、企業状況の把握を目的とした全単組オルグを展開した。

各単組のヒアリングでは、今なお続く景気の低迷により厳しい事態が持続し予断を許さない状況と言え、2010 春闘はまさしく「雇用と生活を守る取り組み」の様相となっている。また、政策実現に向けた参院選の取り組みでは、推進計画の進捗状況説明と今後の取り組み強化を要請し「やたらう再選の道のり」を確かなものとするようお願いした。

「総力を挙げて守り抜く」 2010.3.5 第4回執行委員会



JAM山陰は、厳しい状況が続く中での近況報告と喫緊の課題について協議した。多久和委員長は、「先月実施した全単組オルグで、大変な状況が続いていることを改めて実感した。一部ではエコ政策による効果はあるものの、山陰にはその恩恵が実感できていない。雇調金の受給が続く厳しい中で総力を挙げて守り抜く努力をしよう」とあいさつした。

委員会では、2010 春闘状況や政策実現推進計画の進捗確認と、今後の取り組みについて協議され、第22回参議院議員選挙の鳥根県選挙区予定候補「岩田ひろたか氏」の推薦も確認された。



「全体で取り組み強化を」 2010.3.5 第2回政策政治委員会

JAM山陰政策政治委員会は、第2回委員会を開催し「2010 政策実現推進計画」の取り組み状況を確認しながら、問題点の抽出を行なった。全国的な取り組みが遅れている中で、JAM山陰は先行した集約状況として目に映るものの、支援が少ない地域性や取り組みが未実施となっている単組への対応などについて、強化を図ることを確認した。その後開催された執行委員会でもその旨確認された。



「雇用と生活を守るため！」 2010.3.5 第2回労働政策委員会

JAM山陰労働政策委員会は、2010 春季生活闘争の要求提出状況をはじめ、最低賃金協定の締結強化や、安全衛生研修会の開催について協議した。堀内労働政策委員長は、「企業状況が厳しい中の春闘で、これから賃上げ・一時金とも本格的な交渉に入られると思うが、情報共有と連携強化で雇用と生活を守る事に全力を」と呼びかけた。

「やたらう再選へ意識固め」 2010.3.10 出雲地協「第3回単組代表者会議」



出雲地協は、3/10 に出雲市の渡部製鋼所組合事務所にて、第3回単組代表者会議を開催した。山岡議長(ヒカワ精工労組)は、「2010 春闘と参院選の取り組みに、各単組のみなさんにご奮闘頂き感謝します。雇用も、生活も、政策も、地協のみなさんと力を合わせて実現していきたい」とあいさつした。会議では、地協全単組オルグ報告や2010 政策実現推進計画の進捗状況の報告と意見交換がされた。また、協議事項として3/21 予定の「コア・サポーター集会」の要請や担当、「一斉行動ボランティア」の考え方の説明がされた。

「地協活動の強化と発展へ」 2010.3.11 松江地協「第3回代表者会議」

松江地協「第3回代表者会議」が三菱農機労働会館で開催され12名が出席、「2010 春闘と参院選の課題」について協議がされた。細木議長(JUKI 松江労組)は、「大変厳しい時の春闘は、雇用を守りながら身の丈に合った要求で、じっくり交渉しなければならない。民主党政権の強化とやたらう必勝に全力で取り組むことで、地協活動の強化と発

展を図ろう」とあいさつした。会議では、企業状況の把握とやたらうサポーターの進捗状況と2010 春闘状況などについて情報交換が行われ、今後の取り組み強化について協議した。

「島根に若い力を」 2010.3.31 岩田ひろたか「あいさつ回り」

JAM山陰は、第4回執行委員会(3/4 開催)で推薦を決定した岩田ひろたか氏とともに、島根県内の27 単組に対し、推薦決定報告と支援要請を兼ねたあいさつ回りを実施した。

元アナウンサーである岩田氏は、抜群の知名度と若さを備え持つが、相手は実績もある強敵であり激戦が予想される。岩田氏は「皆さんの支援で島根を変えたい」と訴え、支援を要請した。各単組からは、「島根のことを良く分かっている人が、島根を変えるために立ちあがってもらってありがたい」との声。参院選は、今後の政権運営と政策実現に重要意味を持つ戦いであり、全力で取り組むことを確認した。



OM製作所宍道支部



OM金属工業労組



中海金属浅野歯車支部



菱農エンジ労組



ヒラタ工業労組



島根ワイナリー労組



イズコン労組



ホシザキ電機島根支部



清和鉄工労組



前川鑄造機労組

「植林ボランティアに決定」 2010.3.28 青年協「第4回幹事会」

JAM山陰青年協議会は、第4回幹事会を東出雲町にある三菱農機労働会館にて開催し、役員ら18名が出席した。幹事会では、「やたらうを訪ねて国会へいこう!」の日程・内容が議論され、参加者全員が感想や今後の決意をレポートにまとめて提出することと、当日はスーツ着用で国会へ訪問することなどを確認した。

また、今年のサマーキャンプで予定している「JAM結成10周年ボランティア」の企画については、前回までの幹事会で植林と海岸清掃の調査結果を担当者が報告、議論の結果、鳥取の弓ヶ浜「松林植林」か大山の「ブナ植林」のどちらにするかを、次回幹事会で再検討することとなった。



鳥根選挙区予定候補者 **さかの真理**

もっとも助けを求める人々が希望を持てる日本へ

医療・福祉・介護も含めた社会保障全体を抜本的に見直します。  
医師として、親として、日本の子どもを社会のひずみから救います。  
地域経済の活性化と第一次産業支援、地方分権に取り組みます。



もっとも助けを  
求める人々が  
希望を持てる  
日本へ

応援します  
若い力。



鳥根選挙区予定候補者 **岩田ひろたか**

『行く』『見る』『聞く』『伝える』徹底した現場主義。

政権のど真ん中にまっすぐ地域の声を届けます。  
古い政治への後戻りはありえない。  
誰もが働きやすい環境を整備。安心できる医療・福祉サービスを確立する。  
人と人をつなぐ政治。行動することで前進させる。